

Press Release

研究成果

記者発表あり

2022 年 6 月 24 日

分野：生命科学・医学系

キーワード：PHR、新型コロナウイルス感染症、新型コロナウイルスワクチン

新型コロナウイルス感染症に関する調査への参加者受付開始 ～アプリを用いた PHR の利活用の検討～

【研究のポイント】

- ◆ 患者等主観情報収集アプリを用いた新型コロナウイルス感染症罹患者の後遺症及びワクチン接種者の副反応調査の参加受付を開始
- ◆ 後遺症症状やワクチンの長期的な安全性の情報を明らかにし、患者さんや社会へ新型コロナウイルス及びその感染症に関する適切な情報提供を目指す

❖ 概要

大阪大学大学院医学系研究科 忽那賢志教授(感染制御学)、大阪大学医学部附属病院 浅野健人特任准教授(常勤)(未来医療開発部 臨床研究センター)らは、株式会社 Buzzreach と、患者等主観情報収集アプリを活用した PHR(Personal Health Record)の利活用を検討する2つの共同研究プロジェクトを開始しました。「新型コロナウイルス感染症罹患者の後遺症」、「新型コロナウイルスワクチン接種者の副反応調査」の二つのテーマで共同研究を開始し、同時に、調査にご協力いただける一般参加者の受付も開始いたしました。

❖ 研究の背景

新型コロナウイルス感染症罹患者の中には、療養終了後も長引く罹患後症状に不安や悩みを抱えている人が増えていますが、罹患後症状の実態や対処方法については、いまだ明らかではありません。また、必要回数のワクチン接種が完了した割合が 80%を超える中、副反応など含め、ワクチンの長期的な安全性についてもまだ十分に明らかになっていないとも言えません。このような背景から、患者等主観情報収集アプリを活用することにより収集された PHR を利活用して、感染症専門医である忽那賢志教授主導の共同研究を行うこととしました。新型コロナウイルス感染症罹患者の罹患後症状、そしてワクチン接種後における臨床症状・副作用・副反応情報を明らかにし、学術論文などを通じた適切な情報公開、患者さんや社会への情報提供を行うことを目的としています。

❖ 研究の内容

<1>【新型コロナウイルス感染症の罹患後症状(いわゆる後遺症)調査プロジェクト】

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に罹患された方を対象に、罹患後の症状があるかなど体調変化に関する追跡型アンケート調査を参加者毎に最大 2 年間実施します。

アンケートの実施方法として、患者等主観情報収集アプリを活用し、定期的に感染状況や健康状態に関するアンケートに回答していただきます。この研究を実施することにより、罹患後の症状の実態を明らかにすることが可能になります。また、本研究は自治体とも連携して、自治体が把握している新型コロナウイルス感染症患者に対して、自治体から本研究への参加の案内をいただくことも予定しており、自治体による新型コロナウイルス感染症対策にも活用されます。

Press Release

<2>【新型コロナウイルスワクチン接種者の副反応調査プロジェクト】

日本における新型コロナウイルスワクチン(COVID-19 ワクチン)を接種された方を対象として、本研究の参加に同意いただけた方に COVID-19 ワクチン接種後の新型コロナウイルス感染症の感染状況に関するアンケート調査を実施させていただきます。

新型コロナウイルス感染症の罹患状況を評価し、また、COVID-19 ワクチン接種後の体調変化に関するアンケート調査に回答いただくことで、本邦における複数回のワクチン接種と罹患の状況の関連の実態を疫学的に評価することを目的としています。この研究を実施することにより、予防接種法に基づく医療機関からの副反応疑い報告以外にも情報収集することが可能になり、医療機関に報告されないような小さな兆候に対して、何らかの対策・手段を考えられる可能性があります。

いずれのプロジェクトにおいても、アンケートで収集した情報の一部をアプリ上でも公開し、罹患後症状の実態や COVID-19 ワクチン接種者の実態を皆さまに知っていただくための啓発活動を行う予定にしております。

参加者は研究の趣旨に賛同していただける一般生活者を想定しており、アプリを個人のスマートフォンにダウンロードいただくことで、調査にご参加いただきます。

回答いただいたアンケート内容はアプリ上での公開の他、罹患後症状を調査する研究では、協力自治体単位での集積データの共有による新型コロナウイルス感染症対応活動などの地域貢献、さらに、忽那賢志教授らによるデータ解析後、学術論文や関連学会などで公開することにより、社会への貢献、医療の未来に繋げていくことが可能となります。

❖ 特記事項

本研究で利用する患者等主観情報収集アプリ「VOICE powered by ミライク」は、下記よりダウンロードが可能です。(記者発表当日からアプリのダウンロードが可能となります。)



アプリダウンロードはこちら



AppleおよびAppleロゴは米国その他の国で登録されたApple inc. の商標です。Apple StoreはApple inc. のサービスマークです。
Google PlayおよびGoogle PlayロゴはGoogle inc. の商標です。

Press Release

【大阪大学大学院医学系研究科 感染制御学 忽那賢志 教授】

新型コロナウイルス感染症の流行が始まってから 2 年以上が経過し、検査技術の向上やワクチン・治療薬の開発など様々な面で少しずつ課題が解決されてきています。一方でまだ解決されていない問題も残されており、その中でも新型コロナ後遺症の病態や、新型コロナワクチンの長期的な安全性についてはまだ情報が十分に回っていません。これらを解明するためには、ワクチン接種者や患者さんお一人お一人の情報を継続的に集めて解析をすることが重要になります。私たちはこの研究が、日本での新型コロナ後遺症の診療・治療に貢献し、新型コロナワクチンの長期的な安全性を検証することで社会に貢献できることを目指しています。

【大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部 臨床研究センター浅野健人 特任准教授(常勤)】

海外では、医療機関からの自発報告以外にもスマートフォンを活用して、新型コロナウイルス感染症の患者さん、一般市民の方から自発的に副反応や健康状態を報告してもらい、その情報を収集し、研究として成果が公表されています。また、一般にも WEB 上で情報公開される仕組みが既に構築されています。日本においても、健康観察アプリなどがありますが、まだまだ、海外のような取り組みは少ないというのが現状です。今回の研究を通して、広く日本国内の患者さん、一般市民の方にもご協力いただくことで、日本国民の日々の健康状況の実態を報告できるようにこれらの研究の推進に努めさせていただきます。

【株式会社 Buzzreach 猪川崇輝 代表取締役】

これまで新型コロナ感染症においては、治療薬やワクチンの新薬開発がフォーカスされてきましたが、感染経験者が増える中で、後遺症や副反応でお悩みになる方々への情報提供やアフターフォローはなかなか進んでいないのが現状です。

我々は忽那先生、浅野先生、そして協力いただける自治体と共に後遺症やワクチン副反応でお悩みになる方々へ 1 日も早く原因解明や症状の改善に繋がるようなきっかけを作るべく、ePRO を用いた健康情報収集をさせていただき、その結果を専門家と共に、学術論文やその後の研究などで見える形で社会、患者さん、様々な症状などで悩んでいらっしゃる方々へ還元していくことを目指しております。医療におけるエンドユーザーである一般生活者の皆様からの情報を活かして、未来の医療の発展に寄与できるよう努めて参ります。

❖ 参考 URL

忽那賢志教授 研究者総覧 URL

<https://rd.iai.osaka-u.ac.jp/ja/5cbb2ec6074dffb6.html?k=忽那賢志>

浅野健人特任准教授(常勤) 研究者総覧 URL

<https://rd.iai.osaka-u.ac.jp/ja/de72b0737861e547.html?k=浅野健人>